

2-12. 支援・制度の利用状況とニーズ

支援・制度の利用状況とニーズとして、犯罪被害者等が支援を受けた／制度を利用した機関・団体とその満足度、被害直後と現在の支援ニーズ、地方公共団体に設置されている総合的対応窓口の認知・利用状況等について分析する。

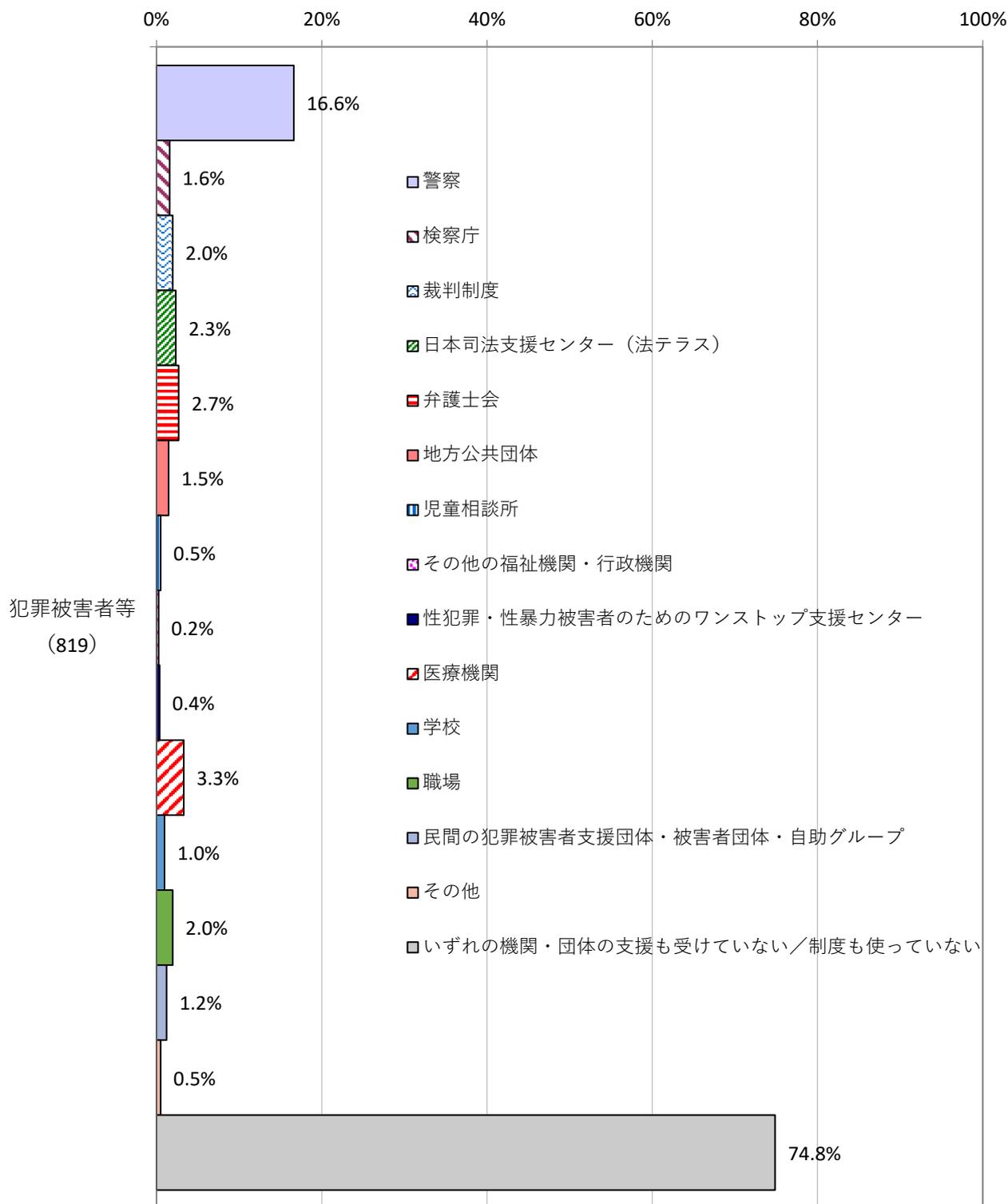
(1) 支援を受けた／制度を利用した機関・団体

回答者や家族が支援を受けた／制度を利用したことがある機関・団体については、「いずれの機関・団体の支援も受けていない／制度も使っていない」との回答比率が74.8%と最も高く、次いで「警察」(16.6%)、「医療機関」(3.3%)、「弁護士会」(2.7%)となっている(図表1 2-1)。

犯罪被害類型別にみると、「いずれの機関・団体の支援も受けていない／制度も使っていない」との回答比率は児童虐待(90.8%)が最も高く、次いで性的な被害(89.9%)、配偶者暴力(77.2%)となっている。また、支援を受けた／制度を利用した回答者の中では、全ての類型で「警察」との回答比率が最も高くなっている(図表1 2-2)。

被害の時期別にみると、「いずれの機関・団体の支援も受けていない／制度も使っていない」との回答比率が、「それ以前」では82.0%、「3～10年以内」では58.7%、「3年以内」では56.1%と、近年になるほど低くなっている。また、多くの機関・団体において、支援を受けた／制度を利用したとの回答比率が近年になるほど高くなっている(図表1 2-3)。

図表 12-1 支援を受けた／制度を利用した機関・団体（複数回答）【Q58】



図表 1 2-2 犯罪被害類型別、支援を受けた／制度を利用した機関・団体（複数回答）【SC1/SC3、Q58】

	全体	警察	検察庁	裁判制度	日本司法支援センター (法テラス)	弁護士会	地方公共団体	児童相談所
犯罪被害者等	819	136 (16.6%)	13 (1.6%)	16 (2.0%)	19 (2.3%)	22 (2.7%)	12 (1.5%)	4 (0.5%)
財産被害	139	40 (28.8%)	4 (2.9%)	3 (2.2%)	6 (4.3%)	2 (1.4%)	3 (2.2%)	1 (0.7%)
配偶者暴力	114	12 (10.5%)	1 (0.9%)	7 (6.1%)	5 (4.4%)	3 (2.6%)	4 (3.5%)	1 (0.9%)
ストーカー行為等	125	18 (14.4%)	2 (1.6%)	3 (2.4%)	3 (2.4%)	2 (1.6%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)
児童虐待	109	4 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)
性的な被害	119	6 (5.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)
交通事故	104	24 (23.1%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	10 (9.6%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)
暴力被害	109	32 (29.4%)	5 (4.6%)	3 (2.8%)	3 (2.8%)	3 (2.8%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)

	その他の福祉機関・行政機関	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター	医療機関	学校	職場	民間の犯罪被害者支援団体・被害者団体・自助グループ	その他	いずれの機関・団体の支援も受けていない／制度も使っていない
犯罪被害者等	2 (0.2%)	3 (0.4%)	27 (3.3%)	8 (1.0%)	16 (2.0%)	10 (1.2%)	4 (0.5%)	613 (74.8%)
財産被害	1 (0.7%)	0 (0.0%)	3 (2.2%)	1 (0.7%)	3 (2.2%)	2 (1.4%)	1 (0.7%)	90 (64.7%)
配偶者暴力	0 (0.0%)	1 (0.9%)	3 (2.6%)	2 (1.8%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	0 (0.0%)	88 (77.2%)
ストーカー行為等	0 (0.0%)	1 (0.8%)	3 (2.4%)	3 (2.4%)	4 (3.2%)	3 (2.4%)	0 (0.0%)	96 (76.8%)
児童虐待	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	99 (90.8%)
性的な被害	0 (0.0%)	1 (0.8%)	4 (3.4%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	107 (89.9%)
交通事故	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (6.7%)	0 (0.0%)	6 (5.8%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	67 (64.4%)
暴力被害	1 (0.9%)	0 (0.0%)	6 (5.5%)	1 (0.9%)	2 (1.8%)	2 (1.8%)	0 (0.0%)	66 (60.6%)

図表 12-3 被害の時期別、支援を受けた／制度を利用した機関・団体（複数回答）【SC2、Q58】

	全体	警察	検察庁	裁判制度	日本司法 支援セン ター(法テラ ス)	弁護士会	地方公共 団体	児童相談 所
3年以内	98	27 (27.6%)	6 (6.1%)	6 (6.1%)	8 (8.2%)	5 (5.1%)	4 (4.1%)	2 (2.0%)
3～10年以内	143	36 (25.2%)	3 (2.1%)	3 (2.1%)	6 (4.2%)	5 (3.5%)	5 (3.5%)	0 (0.0%)
それ以前	578	73 (12.6%)	4 (0.7%)	7 (1.2%)	5 (0.9%)	12 (2.1%)	3 (0.5%)	2 (0.3%)

	その他の福 祉機関・行 政機関	性犯罪・性 暴力被害 者のための ワンストップ 支援セン ター	医療機関	学校	職場	民間の犯 罪被害者 支援団体・ 被害者団 体・自助グ ループ	その他	いずれの機 関・団体の 支援も受け ていない/ 制度も使っ ていない
3年以内	1 (1.0%)	1 (1.0%)	6 (6.1%)	1 (1.0%)	6 (6.1%)	4 (4.1%)	0 (0.0%)	55 (56.1%)
3～10年以内	0 (0.0%)	1 (0.7%)	6 (4.2%)	4 (2.8%)	6 (4.2%)	2 (1.4%)	1 (0.7%)	84 (58.7%)
それ以前	1 (0.2%)	1 (0.2%)	15 (2.6%)	3 (0.5%)	4 (0.7%)	4 (0.7%)	3 (0.5%)	474 (82.0%)

(2) 支援を受けた／制度を利用した機関・団体への満足度

回答者や家族が支援を受けた／制度を利用したことがある機関・団体の対応への満足度については、図表1 2-4のとおり。

図表 1 2-4 支援を受けた／制度を利用した機関・団体への満足度【Q59】

	全体	満足した	やや満足した	どちらともいえない	あまり満足しなかった	満足しなかった
警察	136	18 (13.2%)	34 (25.0%)	40 (29.4%)	18 (13.2%)	26 (19.1%)
検察庁	13	2 (15.4%)	5 (38.5%)	4 (30.8%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)
裁判制度	16	1 (6.3%)	8 (50.0%)	6 (37.5%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)
日本司法支援センター(法テラス)	19	3 (15.8%)	3 (15.8%)	8 (42.1%)	2 (10.5%)	3 (15.8%)
弁護士会	22	4 (18.2%)	7 (31.8%)	6 (27.3%)	4 (18.2%)	1 (4.5%)
地方公共団体	12	1 (8.3%)	1 (8.3%)	5 (41.7%)	2 (16.7%)	3 (25.0%)
児童相談所	4	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)
その他の福祉機関・行政機関	2	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)
性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター	3	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)
医療機関	27	4 (14.8%)	13 (48.1%)	4 (14.8%)	5 (18.5%)	1 (3.7%)
学校	8	0 (0.0%)	3 (37.5%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)
職場	16	3 (18.8%)	8 (50.0%)	4 (25.0%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)
民間の犯罪被害者支援団体・被害者団体・自助グループ	10	1 (10.0%)	4 (40.0%)	4 (40.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)
その他	4	0 (0.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)

(3) 被害直後と現在の支援ニーズ

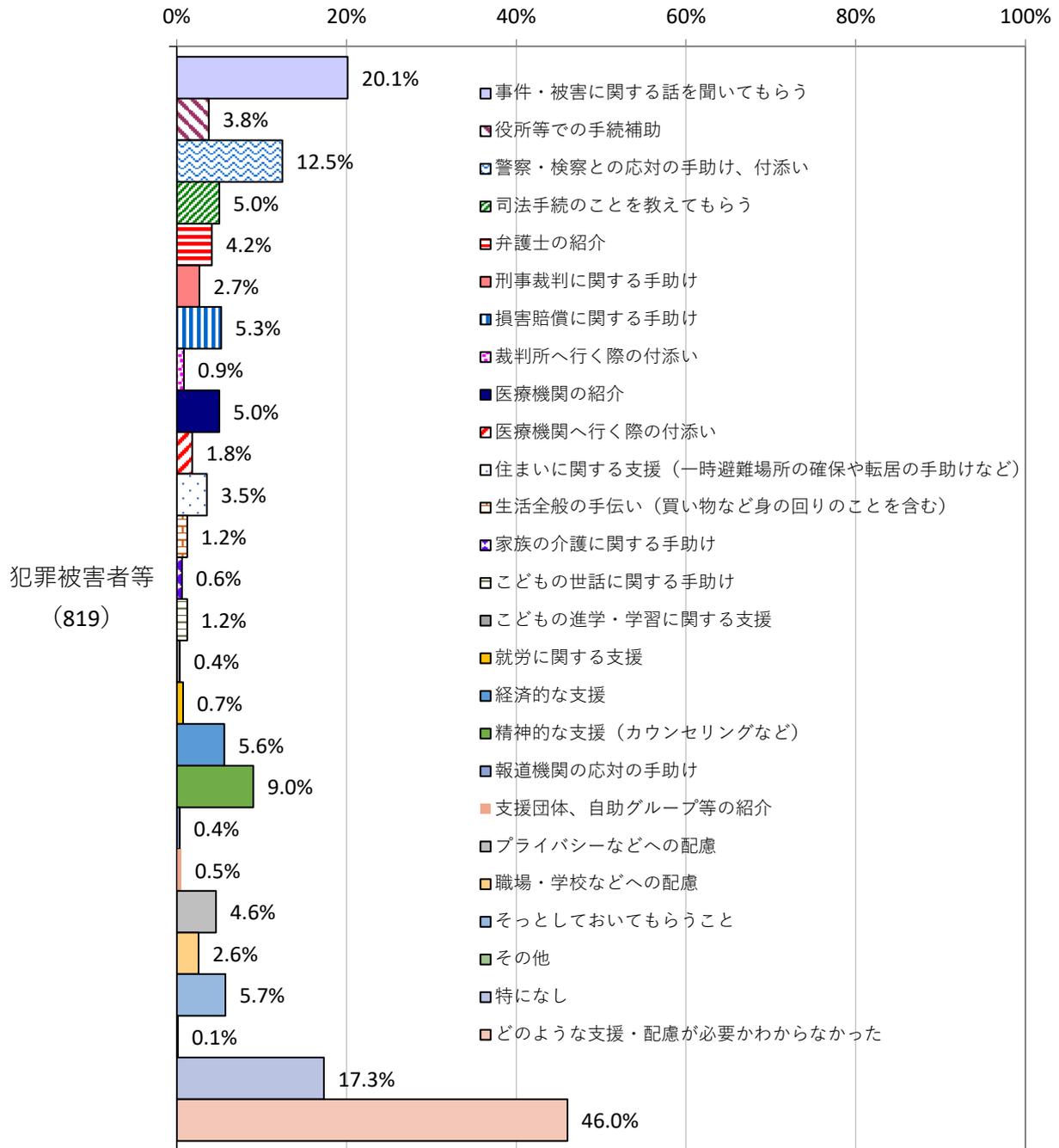
回答者や家族が被害直後に必要とした、また現在必要としている支援・配慮については、双方とも「どのような支援・配慮が必要かわからなかった」との回答比率がそれぞれ46.0%、43.6%と最も高くなっている。具体的な支援・配慮の中では、被害直後では「事件・被害に関する話を聞いてもらう」(20.1%)が最も高く、「警察・検察との対応の手助け、付添い」(12.5%)、「精神的な支援(カウンセリングなど)」(9.0%)が続いている。現在では「特になし」(29.2%)が最も高く、「事件・被害に関する話を聞いてもらう」(8.8%)、「精神的な支援(カウンセリングなど)」(8.4%)が続いている(図表1 2-5)。

被害の時期別にみると、被害直後と現在ともに、「どのような支援・配慮が必要かわからなかった」との回答比率が、近年になるほど低くなっている。また、「事件・被害に関する話を聞いてもらう」「警察・検察との対応の手助け、付添い」「精神的な支援(カウンセリングなど)」等との回答比率は、近年になるほど高くなっている(図表1 2-6)。

図表 12-5 被害を受けた直後、現在において必要な支援等（複数回答）【Q61】

<被害を受けた直後>

・犯罪被害者等全体



<被害を受けた直後>

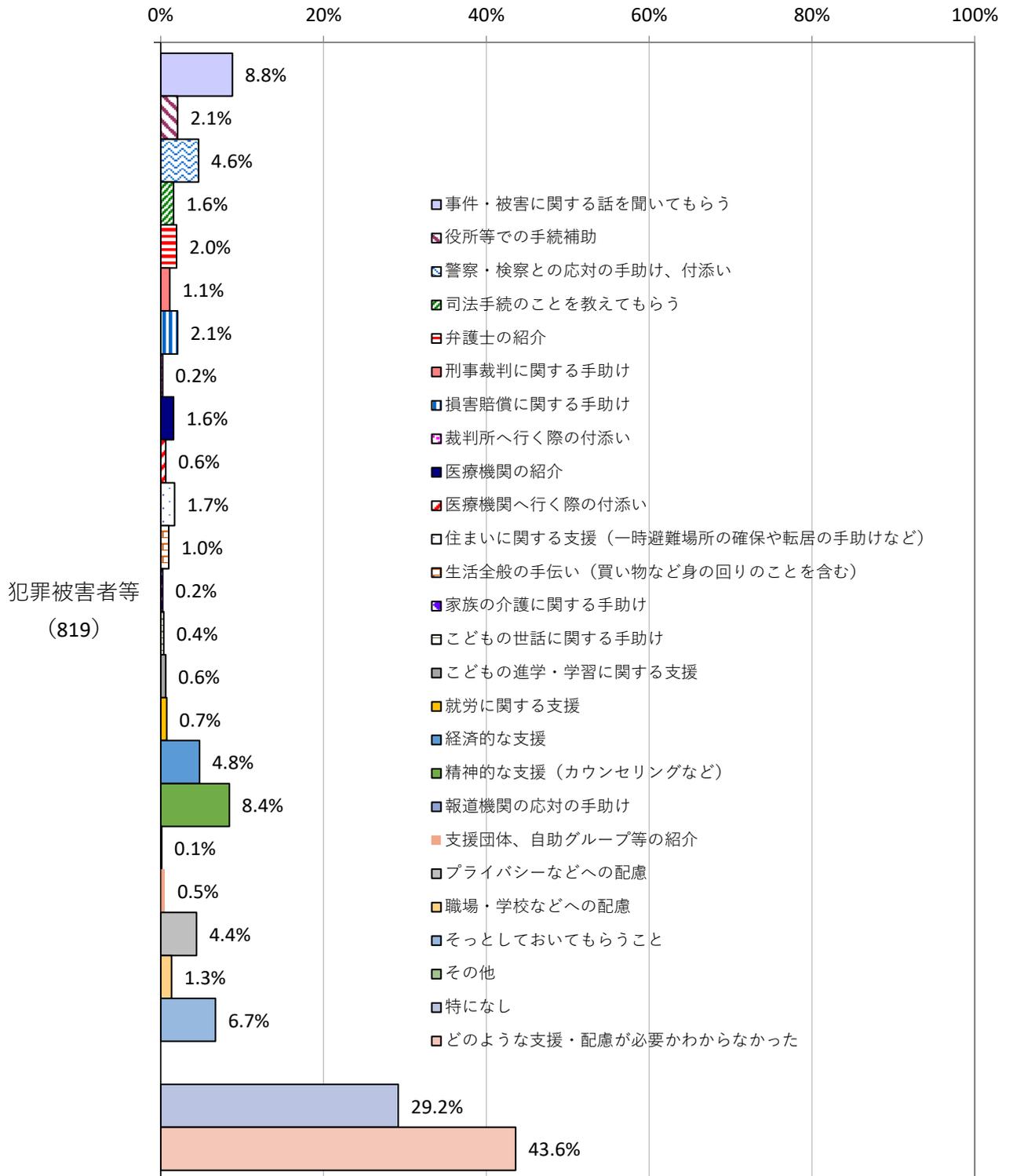
・7 類型別

全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	役所等での手続補助	警察・検察との対応の助け、付添い	司法手続のことを教えてもらう	弁護士の紹介	刑事裁判に関する手助け	損害賠償に関する手助け	裁判所へ行く際の付添い	医療機関の紹介	医療機関へ行く際の付添い	住まいに関する支援(一時避難場所の確保や転居の手助けなど)	生活全般の手伝い(買い物などの身の回りのことを含む)	家族の介護に関する手助け	
犯罪被害者等	819 (20.1%)	165 (3.8%)	31 (12.5%)	102 (5.0%)	41 (4.2%)	34 (2.7%)	22 (5.3%)	43 (0.9%)	7 (5.0%)	41 (1.8%)	15 (3.5%)	29 (1.2%)	10 (0.6%)	5
財産被害	139 (27.3%)	38 (3.6%)	5 (16.5%)	23 (5.8%)	8 (3.6%)	5 (2.9%)	4 (7.9%)	11 (0.7%)	1 (2.2%)	3 (0.7%)	1 (0.7%)	1 (1.4%)	2 (0.7%)	1
配偶者暴力	114 (19.3%)	22 (4.4%)	5 (2.6%)	3 (8.8%)	10 (6.1%)	7 (1.8%)	2 (3.5%)	4 (0.0%)	0 (4.4%)	5 (0.9%)	1 (4.4%)	5 (0.0%)	0 (0.0%)	0
ストーカー行為等	125 (30.4%)	38 (2.4%)	3 (16.8%)	21 (4.0%)	5 (5.6%)	7 (4.8%)	6 (4.8%)	6 (1.6%)	2 (3.2%)	4 (1.8%)	2 (5.6%)	7 (2.4%)	3 (0.8%)	1
児童虐待	109 (12.8%)	14 (1.8%)	2 (7.3%)	8 (2.8%)	3 (3.7%)	4 (2.8%)	3 (4.6%)	5 (0.0%)	0 (3.7%)	4 (1.8%)	2 (8.3%)	9 (0.9%)	1 (0.9%)	1
性的な被害	119 (14.3%)	17 (1.7%)	2 (7.6%)	9 (0.8%)	1 (0.8%)	1 (2.5%)	3 (1.7%)	2 (0.8%)	1 (3.4%)	4 (0.0%)	0 (1.7%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)	0
交通事故	104 (11.5%)	12 (6.7%)	7 (15.4%)	16 (5.8%)	6 (6.7%)	7 (0.0%)	0 (8.7%)	9 (0.0%)	0 (10.6%)	11 (4.8%)	5 (0.0%)	0 (3.8%)	4 (1.0%)	1
暴力被害	109 (22.0%)	24 (6.4%)	7 (20.2%)	22 (7.3%)	8 (2.8%)	3 (3.7%)	4 (5.5%)	6 (2.8%)	3 (9.2%)	10 (3.7%)	4 (4.6%)	5 (0.0%)	0 (0.9%)	1

	こどもの世話に関する手助け	こどもの進学・学習に関する支援	就労に関する支援	経済的な支援	精神的な支援(カウンセリングなど)	報道機関の対応の手助け	支援団体、自助グループ等の紹介	プライバシーなどへの配慮	職場・学校などへの配慮	そっとしてもらおうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからなかった
犯罪被害者等	10 (1.2%)	3 (0.4%)	6 (0.7%)	46 (5.6%)	74 (9.0%)	3 (0.4%)	4 (0.5%)	38 (4.6%)	21 (2.6%)	47 (5.7%)	1 (0.1%)	142 (17.3%)	377 (46.0%)
財産被害	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (4.3%)	1 (0.7%)	2 (1.4%)	0 (0.0%)	3 (2.2%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	32 (23.0%)	58 (41.7%)
配偶者暴力	6 (5.3%)	1 (0.9%)	2 (1.8%)	8 (7.0%)	15 (13.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.6%)	1 (0.9%)	7 (6.1%)	0 (0.0%)	19 (16.7%)	58 (50.9%)
ストーカー行為等	2 (1.6%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	3 (2.4%)	15 (12.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	9 (7.2%)	6 (4.8%)	10 (8.0%)	0 (0.0%)	15 (12.0%)	46 (36.8%)
児童虐待	1 (0.9%)	1 (0.9%)	2 (1.8%)	14 (12.8%)	17 (15.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (8.3%)	2 (1.8%)	7 (6.4%)	0 (0.0%)	12 (11.0%)	61 (56.0%)
性的な被害	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	7 (5.9%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	6 (5.0%)	4 (3.4%)	11 (9.2%)	0 (0.0%)	21 (17.6%)	67 (56.3%)
交通事故	1 (1.0%)	1 (1.0%)	1 (1.0%)	7 (6.7%)	6 (5.8%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	3 (2.9%)	2 (1.9%)	3 (2.9%)	0 (0.0%)	25 (24.0%)	42 (40.4%)
暴力被害	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (6.4%)	13 (11.9%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	5 (4.6%)	5 (4.6%)	9 (8.3%)	0 (0.0%)	18 (16.5%)	45 (41.3%)

<現在>

・犯罪被害者等全体



<現在>

・7類型別

全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	役所等での手続補助	警察・検察との対応の助け、付添い	司法手続のことを教えてもらう	弁護士を紹介	刑事裁判に関する手助け	損害賠償に関する手助け	裁判所へ行く際の付添い	医療機関の紹介	医療機関へ行く際の付添い	住まいに関する支援(一時避難場所の確保や転居の手助けなど)	生活全般の手伝い(買い物など身の回りのことを含む)	家族の介護に関する手助け
犯罪被害者等	819 (8.9%)	72 (2.1%)	17 (4.6%)	38 (4.6%)	13 (1.6%)	16 (2.0%)	9 (1.1%)	17 (2.1%)	2 (0.2%)	13 (1.6%)	5 (0.6%)	14 (1.7%)	8 (1.0%)
財産被害	139 (12.9%)	18 (2.2%)	3 (6.5%)	9 (2.9%)	4 (2.2%)	3 (2.2%)	2 (1.4%)	5 (3.6%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	1 (0.7%)	2 (1.4%)	2 (0.0%)
配偶者暴力	114 (6.1%)	7 (0.9%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.9%)
ストーカー行為等	125 (12.0%)	15 (1.6%)	2 (1.6%)	11 (8.8%)	4 (3.2%)	5 (4.0%)	4 (3.2%)	3 (2.4%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	4 (3.2%)	2 (1.6%)
児童虐待	109 (11.0%)	12 (2.8%)	3 (3.7%)	4 (3.7%)	2 (1.8%)	3 (2.8%)	1 (0.9%)	3 (2.8%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	6 (5.5%)	1 (0.9%)
性的な被害	119 (5.0%)	6 (1.7%)	2 (0.8%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	3 (2.5%)	1 (0.8%)	0 (0.8%)	1 (0.8%)
交通事故	104 (3.8%)	4 (2.9%)	3 (4.8%)	5 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.9%)	0 (0.0%)	2 (1.9%)	2 (1.9%)	0 (0.0%)	2 (1.9%)
暴力被害	109 (9.2%)	10 (2.8%)	3 (6.4%)	7 (6.4%)	2 (1.8%)	3 (2.8%)	0 (0.9%)	2 (1.8%)	1 (0.9%)	3 (2.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

子どもの世話に関する手助け	子どもの進学・学習に関する支援	就労に関する支援	経済的な支援	精神的な支援(カウンセリングなど)	報道機関の対応の手助け	支援団体、自助グループ等の紹介	プライバシーなどへの配慮	職場・学校などへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからなかった
犯罪被害者等	3 (0.4%)	5 (0.6%)	6 (0.7%)	39 (4.8%)	69 (8.4%)	1 (0.1%)	4 (0.5%)	36 (4.4%)	11 (1.3%)	55 (6.7%)	0 (0.0%)	239 (29.2%)
財産被害	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (3.6%)	4 (2.9%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	6 (4.3%)	1 (0.7%)	4 (2.9%)	0 (0.0%)	51 (39.6%)
配偶者暴力	3 (2.6%)	4 (3.5%)	1 (0.9%)	8 (7.0%)	16 (14.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.6%)	1 (0.9%)	9 (7.9%)	0 (0.0%)	30 (26.3%)
ストーカー行為等	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	3 (2.4%)	12 (9.6%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	9 (7.2%)	4 (3.2%)	17 (13.6%)	0 (0.0%)	26 (20.8%)
児童虐待	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	10 (9.2%)	19 (17.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (7.3%)	2 (1.8%)	9 (8.3%)	0 (0.0%)	21 (19.3%)
性的な被害	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	2 (1.7%)	6 (5.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (5.9%)	2 (1.7%)	7 (5.9%)	0 (0.0%)	35 (29.4%)
交通事故	0 (0.0%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	7 (6.7%)	5 (4.8%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	1 (1.0%)	1 (1.0%)	2 (1.9%)	0 (0.0%)	41 (39.4%)
暴力被害	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	4 (3.7%)	7 (6.4%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	2 (1.8%)	0 (0.0%)	7 (6.4%)	0 (0.0%)	35 (32.1%)

図表 12-6 被害の時期別、被害を受けた直後、現在において必要な支援等
(複数回答)【SC2、Q61】

<被害を受けた直後>

全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	役所等での手続補助	警察・検察との対応の助け、付添い	司法手続のことを教えてもらう	弁護士を紹介	刑事裁判に関する手助け	損害賠償に関する手助け	裁判所へ行く際の付添い	医療機関の紹介	医療機関へ行く際の付添い	住まいに関する支援(一時避難場所の確保や転居の手助けなど)	生活全般の手伝い(買い物など身の回りのことを含む)	家族の介護に関する手助け
3年以内	98 (37.8%)	37 (6.1%)	6 (21.4%)	21 (11.2%)	11 (9.2%)	9 (3.1%)	3 (7.1%)	7 (2.0%)	2 (5.1%)	5 (2.0%)	2 (2.0%)	2 (1.0%)	1 (1.0%)
3~10年以内	143 (29.4%)	42 (8.4%)	12 (20.3%)	29 (8.4%)	12 (7.7%)	11 (4.2%)	6 (7.7%)	11 (1.4%)	2 (7.0%)	10 (2.1%)	3 (2.8%)	4 (1.4%)	2 (0.7%)
それ以前	578 (14.9%)	86 (2.2%)	13 (9.0%)	52 (3.1%)	18 (3.1%)	14 (2.4%)	13 (4.3%)	25 (0.5%)	3 (4.5%)	26 (1.7%)	10 (4.0%)	23 (1.2%)	7 (0.5%)

子どもの世話に関する手助け	子どもの進学・学習に関する支援	就労に関する支援	経済的な支援	精神的な支援(カウンセリングなど)	報道機関の対応の手助け	支援団体、自助グループ等の紹介	プライバシーなどへの配慮	職場・学校などへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからなかった
3年以内	2 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (5.1%)	15 (15.3%)	2 (2.0%)	0 (0.0%)	6 (6.1%)	3 (3.1%)	7 (7.1%)	0 (0.0%)	11 (11.2%)
3~10年以内	3 (2.1%)	2 (1.4%)	1 (0.7%)	5 (3.5%)	15 (10.5%)	1 (0.7%)	2 (1.4%)	9 (6.3%)	5 (3.5%)	8 (5.6%)	0 (0.0%)	14 (9.9%)
それ以前	5 (0.9%)	1 (0.2%)	5 (0.9%)	36 (6.2%)	44 (7.6%)	0 (0.0%)	2 (0.3%)	23 (4.0%)	13 (2.2%)	32 (5.5%)	1 (0.2%)	117 (49.8%)

<現在>

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	役所等での手続補助	警察・検察との対応の助け、付添い	司法手続のことを教えてもらう	弁護士の紹介	刑事裁判に関する手助け	損害賠償に関する手助け	裁判所へ行く際の付添い	医療機関への紹介	医療機関へ行く際の付添い	住まいに関する支援(一時避難場所の確保や転居の手助けなど)	生活全般の手伝い(買物の回りのことを含む)	家族の介護に関する手助け
3年以内	98	21 (21.4%)	6 (6.1%)	9 (9.2%)	4 (4.1%)	4 (4.1%)	2 (2.0%)	6 (6.1%)	0 (0.0%)	4 (4.1%)	2 (2.0%)	1 (1.0%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)
3~10年以内	143	18 (12.6%)	3 (2.1%)	10 (7.0%)	3 (2.1%)	4 (2.8%)	2 (1.4%)	3 (2.1%)	1 (0.7%)	1 (0.7%)	1 (0.7%)	3 (2.1%)	2 (1.4%)	1 (0.7%)
それ以前	578	33 (5.7%)	8 (1.4%)	19 (3.3%)	6 (1.0%)	8 (1.4%)	5 (0.9%)	8 (1.4%)	1 (0.2%)	8 (1.4%)	2 (0.3%)	10 (1.7%)	5 (0.9%)	1 (0.2%)

	こどもの世話に関する手助け	こどもの進学・学習に関する支援	就労に関する支援	経済的な支援	精神的な支援(カウンセリングなど)	報道機関の対応の手助け	支援団体、自助グループ等の紹介	プライバシーなどへの配慮	職場・学校などへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからなかった
3年以内	1 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (7.1%)	15 (15.3%)	1 (1.0%)	1 (1.0%)	7 (7.1%)	3 (3.1%)	8 (8.2%)	0 (0.0%)	14 (14.3%)	38 (38.8%)
3~10年以内	0 (0.0%)	2 (1.4%)	0 (0.0%)	6 (4.2%)	12 (8.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (4.9%)	2 (1.4%)	9 (6.3%)	0 (0.0%)	30 (21.0%)	62 (43.4%)
それ以前	2 (0.3%)	3 (0.5%)	6 (1.0%)	26 (4.5%)	42 (7.3%)	0 (0.0%)	3 (0.5%)	22 (3.8%)	6 (1.0%)	38 (6.6%)	0 (0.0%)	195 (33.7%)	257 (44.5%)

(4)総合的対応窓口の認知・利用状況

ア. 総合的対応窓口の認知度

犯罪被害者等における総合的対応窓口の認知状況については、認知度（「被害にあったのちに知った」と「被害にあう前から知っていた」の和）は15.6%であった（図表12-7）。

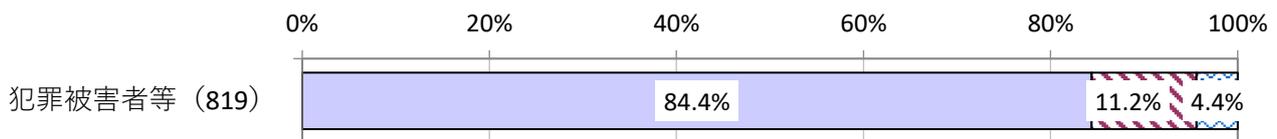
回答者の性別ごとにみると、男性の認知度は16.7%、女性の認知度は14.5%である（図表12-8）。

回答者の年齢層別にみると、若年層と高齢層で認知度が高く、壮年層で低い傾向がみられる（図表12-9）。

被害の時期別にみると、「それ以前」（12.1%）、「3～10年以内」（19.6%）、「3年以内」（30.6%）と、近年になるほど認知度が高くなっている（図表12-10）。

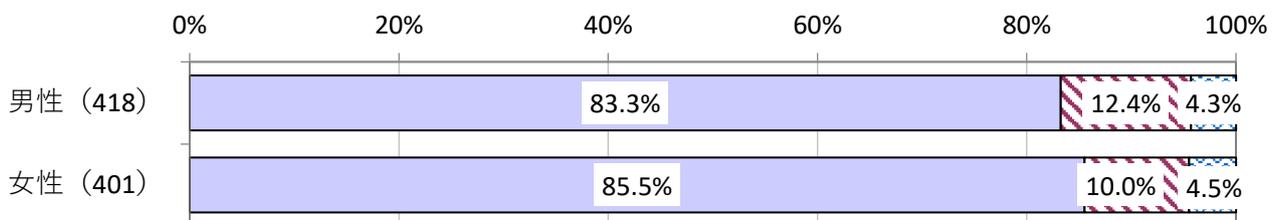
なお、一般対象者における総合的対応窓口の認知度は、2.8%となっている（図表12-11）。

図表 12-7 総合的対応窓口の認知の有無【Q54】



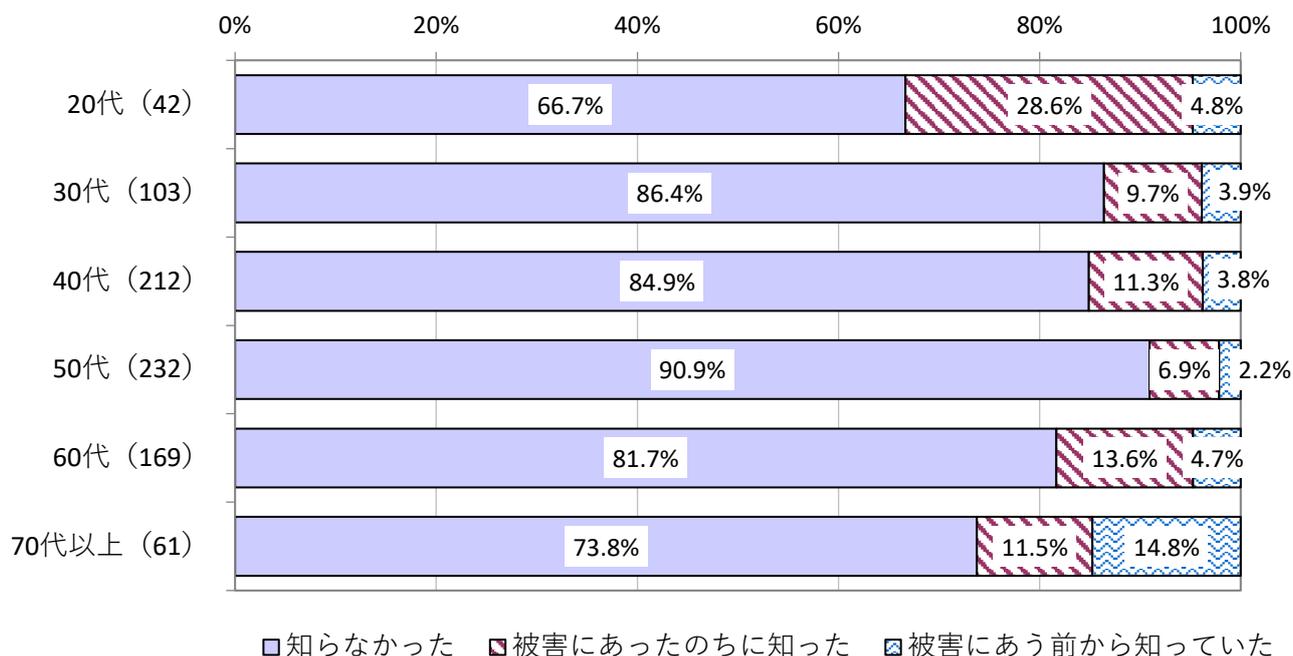
□ 知らなかった ■ 被害にあったのちに知った ▨ 被害にあう前から知っていた

図表 12-8 性別、総合的対応窓口の認知の有無【F1、Q54】

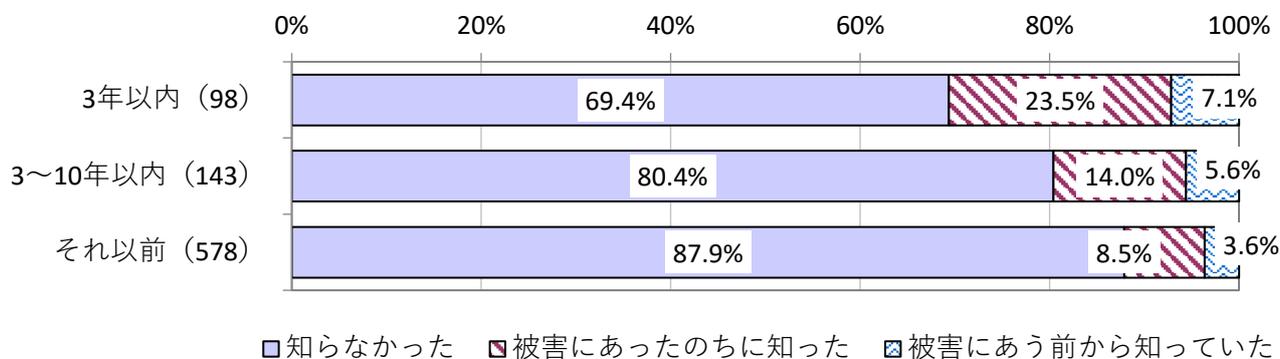


□ 知らなかった ■ 被害にあったのちに知った ▨ 被害にあう前から知っていた

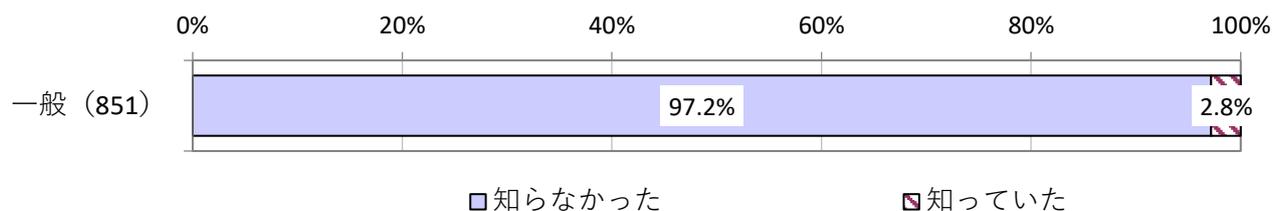
図表 1 2-9 年齢層別、総合的対応窓口の認知の有無【F2、Q54】



図表 1 2-10 被害の時期別、総合的対応窓口の認知の有無【SC2、Q54】



図表 1 2-11 一般対象者、総合的対応窓口の認知の有無【P8】



イ. 総合的対応窓口を知ったきっかけ

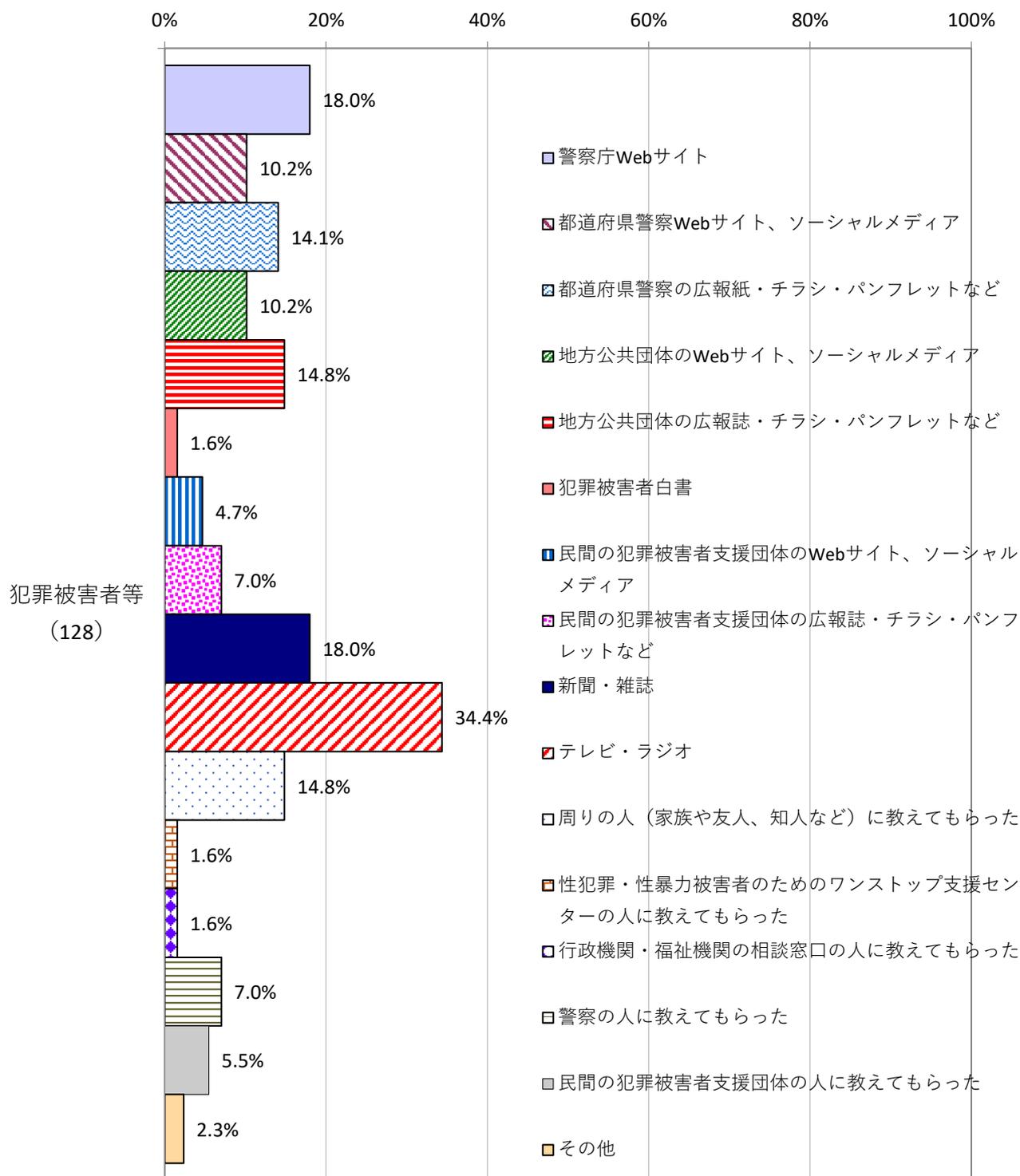
犯罪被害者等の総合的対応窓口を知ったきっかけについては、「テレビ・ラジオ」(34.4%)との回答比率が最も高く、次いで「警察庁 Web サイト」「新聞・雑誌」(それぞれ 18.0%)となっている(図表 1 2-1 2)。

回答者の性別ごとにみると、「警察庁 Web サイト」との回答比率は男性(27.1%)が女性(6.9%)を 20.2 ポイント、「テレビ・ラジオ」との回答比率は女性(37.9%)が男性(31.4%)を 6.5 ポイント上回っている(図表 1 2-1 3)。

被害の時期別にみると、「警察庁 Web サイト」「都道府県警察の広報紙・チラシ・パンフレットなど」「地方公共団体の Web サイト、ソーシャルメディア」との回答比率は、近年になるほど高くなっている(図表 1 2-1 4)。

回答者の年齢層別については、図表 1 2-1 5 のとおり。

図表 12-12 総合的対応窓口を知ったきっかけ（複数回答）【Q55】



※対象：Q54（「総合的対応窓口」の認知の有無）で「知らなかった」と回答した方（691人）を除く。

図表 12-13 性別、総合的対応窓口を知ったきっかけ（複数回答）【F1、Q55】

	全体	警察庁Web サイト	都道府県警 察Webサイ ト、ソーシ ャルメデア	都道府県警 察の広報 紙・チラシ パンフレッ トなど	地方公共団 体のWebサ イト、ソー シャルメデア	地方公共団 体の広報 誌・チラシ パンフレッ トなど	犯罪被害者 白書	民間の犯罪 被害者支援 団体のWeb サイト、ソー シャルメデア	民間の犯罪 被害者支援 団体の広報 誌・チラシ パンフレッ トなど
男性	70	19 (27.1%)	10 (14.3%)	12 (17.1%)	10 (14.3%)	11 (15.7%)	1 (1.4%)	3 (4.3%)	4 (5.7%)
女性	58	4 (6.9%)	3 (5.2%)	6 (10.3%)	3 (5.2%)	8 (13.8%)	1 (1.7%)	3 (5.2%)	5 (8.6%)

	新聞・雑誌	テレビ・ラジ オ	周りの人(家 族や友人、 知人など)に 教えてもらっ た	性犯罪・性 暴力被害者 のためのワ ンストップ支 援センター の人に教え てもらった	行政機関・ 福祉機関の 相談窓口の 人に教えて もらった	警察の人に 教えてもらっ た	民間の犯罪 被害者支援 団体の人に 教えてもらっ た	その他
男性	17 (24.3%)	22 (31.4%)	11 (15.7%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	5 (7.1%)	3 (4.3%)	1 (1.4%)
女性	6 (10.3%)	22 (37.9%)	8 (13.8%)	1 (1.7%)	2 (3.4%)	4 (6.9%)	4 (6.9%)	2 (3.4%)

※対象：Q54（「総合的対応窓口」の認知の有無）で「知らなかった」と回答した方（691人）を除く。

図表 12-14 被害の時期別、総合的対応窓口を知ったきっかけ（複数回答）【SC2、Q55】

	全体	警察庁Web サイト	都道府県警 察Webサイ ト、ソーシ ャルメデア	都道府県警 察の広報 紙・チラシ パンフレッ トなど	地方公共団 体のWebサ イト、ソー シャルメデア	地方公共団 体の広報 誌・チラシ パンフレッ トなど	犯罪被害者 白書	民間の犯罪 被害者支援 団体のWeb サイト、ソー シャルメデア	民間の犯罪 被害者支援 団体の広報 誌・チラシ パンフレッ トなど
3年以内	30	11 (36.7%)	4 (13.3%)	5 (16.7%)	6 (20.0%)	4 (13.3%)	1 (3.3%)	0 (0.0%)	1 (3.3%)
3～10年以内	28	9 (32.1%)	6 (21.4%)	4 (14.3%)	4 (14.3%)	7 (25.0%)	0 (0.0%)	3 (10.7%)	3 (10.7%)
それ以前	70	3 (4.3%)	3 (4.3%)	9 (12.9%)	3 (4.3%)	8 (11.4%)	1 (1.4%)	3 (4.3%)	5 (7.1%)

	新聞・雑誌	テレビ・ラジ オ	周りの人(家 族や友人、 知人など)に 教えてもらっ た	性犯罪・性 暴力被害者 のためのワ ンストップ支 援センター の人に教え てもらった	行政機関・ 福祉機関の 相談窓口の 人に教えて もらった	警察の人に 教えてもらっ た	民間の犯罪 被害者支援 団体の人に 教えてもらっ た	その他
3年以内	3 (10.0%)	6 (20.0%)	3 (10.0%)	1 (3.3%)	0 (0.0%)	3 (10.0%)	1 (3.3%)	0 (0.0%)
3～10年以内	5 (17.9%)	6 (21.4%)	4 (14.3%)	1 (3.6%)	1 (3.6%)	0 (0.0%)	3 (10.7%)	0 (0.0%)
それ以前	15 (21.4%)	32 (45.7%)	12 (17.1%)	0 (0.0%)	1 (1.4%)	6 (8.6%)	3 (4.3%)	3 (4.3%)

※対象：Q54（「総合的対応窓口」の認知の有無）で「知らなかった」と回答した方（691人）を除く。

図表 12-15 年齢層別、総合的対応窓口を知ったきっかけ（複数回答）【F2、Q55】

	全体	警察庁Web サイト	都道府県警 察Webサイ ト、ソーシ ャルメデア	都道府県警 察の広報 紙・チラシ パンフレッ トなど	地方公共団 体のWebサ イト、ソー シャルメデ ィア	地方公共団 体の広報 誌・チラシ パンフレッ トなど	犯罪被害者 白書	民間の犯罪 被害者支援 団体のWeb サイト、ソー シャルメデ ィア	民間の犯 罪被害者 支援団体 の広報誌・ チラシ・パ ンフレッ トなど
20代	14	5 (35.7%)	1 (7.1%)	1 (7.1%)	1 (7.1%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	1 (7.1%)	2 (14.3%)
30代	14	5 (35.7%)	5 (35.7%)	1 (7.1%)	2 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	1 (7.1%)
40代	32	5 (15.6%)	4 (12.5%)	6 (18.8%)	3 (9.4%)	6 (18.8%)	0 (0.0%)	2 (6.3%)	4 (12.5%)
50代	21	5 (23.8%)	1 (4.8%)	1 (4.8%)	3 (14.3%)	6 (28.6%)	0 (0.0%)	2 (9.5%)	1 (4.8%)
60代	31	2 (6.5%)	2 (6.5%)	5 (16.1%)	2 (6.5%)	3 (9.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.2%)
70代以上	16	1 (6.3%)	0 (0.0%)	4 (25.0%)	2 (12.5%)	4 (25.0%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

	新聞・雑誌	テレビ・ラジ オ	周りの人(家 族や友人、 知人など)に 教えてもらっ た	性犯罪・性 暴力被害者 のためのフ ンストップ支 援センター の人に教え てもらった	行政機関・ 福祉機関の 相談窓口の 人に教えて もらった	警察の人に 教えてもらっ た	民間の犯罪 被害者支援 団体の人に 教えてもらっ た	その他
20代	0 (0.0%)	2 (14.3%)	2 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (14.3%)	3 (21.4%)	0 (0.0%)
30代	2 (14.3%)	1 (7.1%)	4 (28.6%)	1 (7.1%)	1 (7.1%)	0 (0.0%)	2 (14.3%)	0 (0.0%)
40代	3 (9.4%)	9 (28.1%)	3 (9.4%)	0 (0.0%)	1 (3.1%)	2 (6.3%)	1 (3.1%)	3 (9.4%)
50代	5 (23.8%)	8 (38.1%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)
60代	7 (22.6%)	16 (51.6%)	5 (16.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
70代以上	6 (37.5%)	8 (50.0%)	4 (25.0%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)	3 (18.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

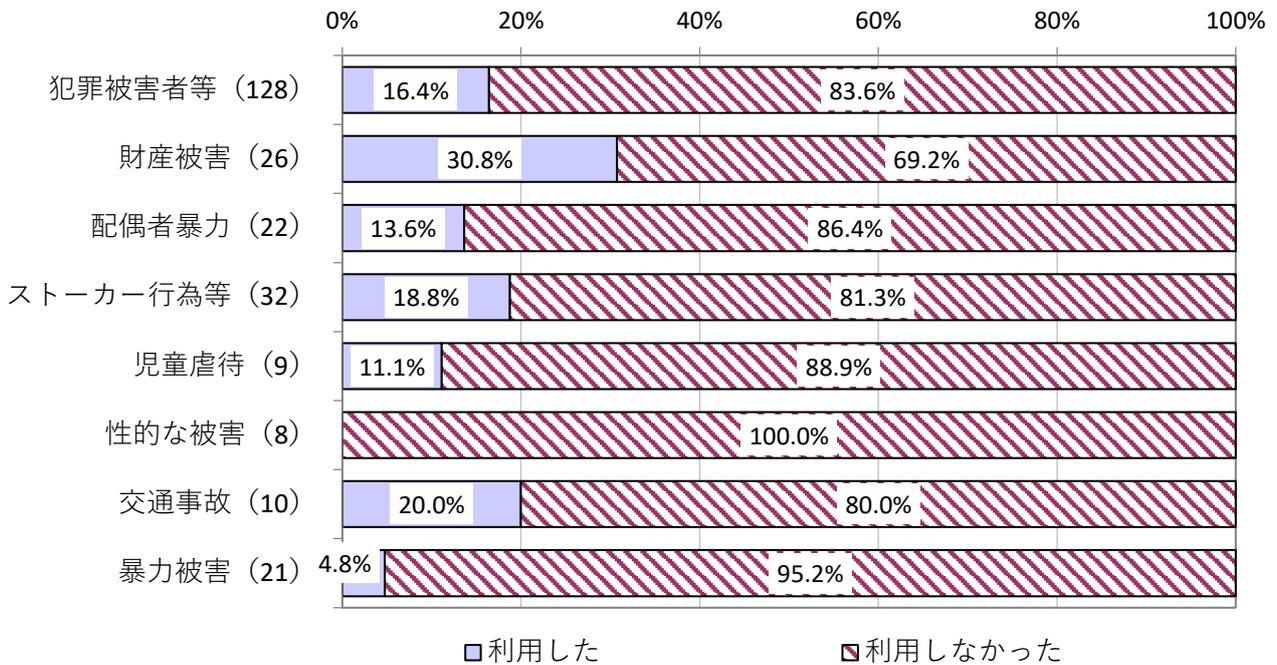
※対象：Q54（「総合的対応窓口」の認知の有無）で「知らなかった」と回答した方（691人）を除く。

ウ. 総合的対応窓口の利用の有無

総合的対応窓口の利用の有無について、犯罪被害者等全体では、窓口を知っていた方のうち、16.4%が利用したと回答している（図表12-16）。

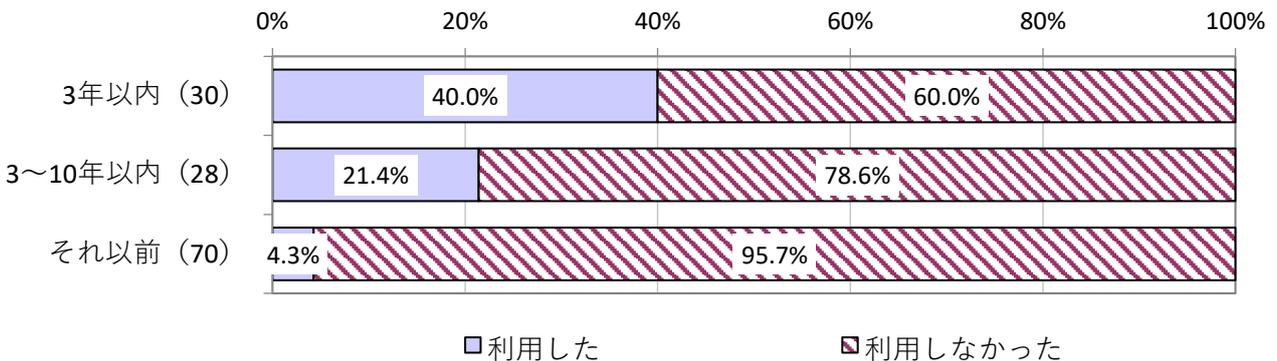
被害の時期別にみると、「それ以前」では4.3%、「3～10年以内」では21.4%、「3年以内」では40.0%と、近年になるほど利用率が高くなっている（図表12-17）。

図表 12-16 犯罪被害類型別、総合的対応窓口の利用の有無【SC1/SC3、Q56】



※対象：Q54（「総合的対応窓口」の認知の有無）で「知らなかった」と回答した方（691人）を除く。

図表 12-17 被害の時期別、総合的対応窓口の利用の有無【SC2、Q56】



※対象：Q54（「総合的対応窓口」の認知の有無）で「知らなかった」と回答した方（691人）を除く。

エ. 総合的対応窓口を利用しなかった理由

総合的対応窓口を利用しなかった理由について、犯罪被害者等全体としては、「窓口相談するほどの被害ではないと思ったから」(35.5%)との回答比率が最も高く、次いで「窓口相談すると物事がどのように進むのか予想ができないから」(20.6%)、「どうせとりあってももらえないと思ったから」(18.7%)となっている(図表12-18)。

被害の時期別にも、全ての時期で「窓口相談するほどの被害ではないと思ったから」との回答比率が最も高くなっている(図表12-19)。

図表 12-18 犯罪被害類型別、総合的対応窓口を利用しなかった理由(複数回答)【SC1/SC3、Q57】

	全体	窓口相談するほどの被害ではないと思ったから	窓口相談すると物事がどのように進むのか予想ができないから	窓口がどこにあるかわからなかったから	低年齢であったため、相談することを思い至らなかった	他の機関による相談・支援で足りたため、相談する必要がなかった	どうせとりあってももらえないと思ったから	手続などが大変だと思ったから	周囲の目が気になるから	被害の話をするのがつらかったから	その他
犯罪被害者等	107	38 (35.5%)	22 (20.6%)	14 (13.1%)	10 (9.3%)	7 (6.5%)	20 (18.7%)	14 (13.1%)	14 (13.1%)	15 (14.0%)	7 (6.5%)
財産被害	18	11 (61.1%)	4 (22.2%)	2 (11.1%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	3 (16.7%)	4 (22.2%)	2 (11.1%)	2 (11.1%)	0 (0.0%)
配偶者暴力	19	9 (47.4%)	4 (21.1%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	2 (10.5%)	3 (15.8%)	2 (10.5%)	3 (15.8%)	3 (15.8%)	0 (0.0%)
ストーカー行為等	26	8 (30.8%)	9 (34.6%)	4 (15.4%)	2 (7.7%)	0 (0.0%)	8 (30.8%)	3 (11.5%)	5 (19.2%)	3 (11.5%)	1 (3.8%)
児童虐待	8	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)
性的な被害	8	2 (25.0%)	2 (25.0%)	3 (37.5%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	2 (25.0%)	0 (0.0%)
交通事故	8	3 (37.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	2 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)
暴力被害	20	5 (25.0%)	2 (10.0%)	3 (15.0%)	1 (5.0%)	1 (5.0%)	2 (10.0%)	2 (10.0%)	3 (15.0%)	3 (15.0%)	3 (15.0%)

※対象：Q54(「総合的対応窓口」の認知の有無)で「知らなかった」と回答した方(691人)を除き、かつQ56(「総合的対応窓口」の利用の有無)で「利用した」と回答した方(21人)を除く。

図表 12-19 被害の時期別、総合的対応窓口を利用しなかった理由(複数回答)【SC2、Q57】

	全体	窓口相談するほどの被害ではないと思ったから	窓口相談すると物事がどのように進むのか予想ができないから	窓口がどこにあるかわからなかったから	低年齢であったため、相談することを思い至らなかった	他の機関による相談・支援で足りたため、相談する必要がなかった	どうせとりあってももらえないと思ったから	手続などが大変だと思ったから	周囲の目が気になるから	被害の話をするのがつらかったから	その他
3年以内	18	8 (44.4%)	4 (22.2%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (27.8%)	1 (5.6%)	6 (33.3%)	3 (16.7%)	0 (0.0%)
3~10年以内	22	9 (40.9%)	8 (36.4%)	3 (13.6%)	1 (4.5%)	2 (9.1%)	3 (13.6%)	1 (4.5%)	3 (13.6%)	3 (13.6%)	0 (0.0%)
それ以前	67	21 (31.3%)	10 (14.9%)	10 (14.9%)	9 (13.4%)	5 (7.5%)	12 (17.9%)	12 (17.9%)	5 (7.5%)	9 (13.4%)	7 (10.4%)

※対象：Q54(「総合的対応窓口」の認知の有無)で「知らなかった」と回答した方(691人)を除き、かつQ56(「総合的対応窓口」の利用の有無)で「利用した」と回答した方(21人)を除く。